

栃木市市民会議 全体会 会議要旨

日 時： 令和8年9月29日（火） 午後7時～8時50分
会 場： 栃木市役所 正庁
出席者数： 委員30名、事務局9名

1 開会

2 あいさつ

会 長： 栃木市市民会議全体会は、5月に次いで今回で2回目の開催になる。足元の悪い中お集まりいただき感謝する。

令和7年度に栃木市が総合計画に基づいて実施した事業と総合計画の実現を下支えする行財政改革大綱の実施状況について、総合計画部会において7グループに分かれて市民の目線で評価を行ったものを、本日報告いただく。自治基本条例部会の皆さんは、今日初めて報告を聞くことになると思うが、質問等をもらえれば大変ありがたい。

全体会については、今年度、今後の開催が予定されておらず、3月末で任期を終える委員は今日が最後の会議になると思う。寂しいが、ぜひ積極的に質問等していただければと思う。よろしくをお願いしたい。

3 議事

1) 議題1（総合計画部会 外部評価実施結果について）

部会長より総括

部会長： 7月末から8月頭にかけて、基本方針に沿った6つのグループと行財政改革大綱のグループ7に分かれて外部評価を作成いただいた。それぞれ属しているグループごとに活発に議論していただいた。基礎単位の資料を基に担当職員が対面で説明をしたり、説明を踏まえて、市民間で話し合いをしたりし、グループの意見を吸い上げて成果を作ることができ、貴重な場であったと感じた。

グループ7では、具体的な提言について議論をしており、大変勉強になった。

今日の報告では、力強く発表していただき、他のグループの報告からも吸収してほしい。よろしくをお願いしたい。

グループごとに各委員より、作業結果を報告

感想等

委 員： グループ7の発表が良かったが、発表内容を簡単にまとめた資料をいただ

きたい。

事務局： グループ7の読み原稿については、後日市ホームページへ公開する。

委員： グループの報告にもあった防災について関心を持ったときに、自分から探さないと必要な情報を入手できず、自分は何を準備すれば良いのか、周囲と協力して何をすべきか等を知りたいと思ったことがある。

今日の会議の内容は、市民と地域それぞれの立場から何をすべきかなどの情報が、まとめられ整理されているので、市として広く発信してほしい。

情報は様々なツールで発信はされているが、伝わっていないこともあるかもしれないので、工夫が必要だと思う。

会長： 今日の会議内容を市民に広く発信する手段があれば教えてほしい。

事務局： 市民会議で意見が出されたものを、広く市民に情報発信していただきたいとの話について、市民会議で意見をいただいた行政評価・財政自立計画についてはそれぞれ市ホームページ等で発信はさせていただいているが、周知・PRが届いていないことが課題である。市民の皆さんに共有できるような取組を継続して行っていきたいと考える。

総合政策部長： 行政評価について貴重なご意見いただき感謝申し上げます。

本市を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や市民ニーズの多様化などの影響で想定以上の大きな変化がある中、今後の社会変化に対応しながら、市としてどのような事業を進めていくべきかを考える上で、大変参考になった。

厳しい財政状況であるが、進めるべき事業については積極的に進めて、立ち止まるべき事業については立ち止まる勇気を持ち、将来も持続可能な自治体として、今日いただいたご意見を参考に市民目線で、事業の実施をしていきたいと考える。

経営管理部長： 行革大綱の検証の実施に当たり、ご協力をいただき感謝申し上げます。

市長のマニフェストにも財政再建とあるが、本市の経常収支比率は現在95.9%であり県内14市の中で第9位という状況である。今回の検証結果や委員からご意見をいただいた歳入の増加・歳出の削減等の提案をもとに市民サービスの向上に努め、市民が理解しやすいような積極的な情報発信をしていきたいと考える。

委員： 地域福祉の充実について、私は自治会長と民生委員を務めているが、自治会の方が隣家の様子に気づいて大変良く対応してくれている。一方で、自分とは関係がないことと線引きしてしまうと、地域そのものが崩壊してしまう

おそれがあるので、民生委員が行政との間に入り、連絡を取り合っている。自治会長として役員の皆さんに地域の見守りをお願いする中で、皆さんには理解いただき助かっている。他の自治会でも、自治会長・民生委員と連携をとりながら意見交換をしながら進めていくと、地域福祉は進んでいくと思う。

また、外国人住民との意思疎通も問題になっているが、自治会は国籍関係なく対応するので、その地域に住んでいる以上、皆さんが互いに協力し合い、仲良く進めていく必要があると思う。

4 その他

事務局より報告

- ・ 栃木市自治基本条例逐条解説書の改訂について
- ・ 栃木市自治基本条例の見直しに関する報告書における提言に対する対応方針について

会長・副会長のコメント

副会長：7つのグループの2年間の活動が今日の報告に凝縮されていた。政策への評価と提言を皆さんの言葉で発表されたことに感銘を受けた。栃木市の取組は、栃木県内の他の自治体を見ても全国的に見ても、なかなかない取組である。私が他の自治体と関わる時にも応用させていただいている重要な分析ツールである。感謝申し上げます。

会長：今日の報告には大変関心した。特に印象に残ったのは、ただ事業を実施して終わりではなく、どういう結果を生み出したかという次の段階まで数値で図ることができたことだ。市の進める施策について意見交換をする貴重な経験になったと思うので、次年度の総合計画部会に活かしてほしい。任期が終わる委員の皆さんにおかれては、市民会議の活動を周りの方々にPRして広めてほしい。さらに色々な人に拡がっていく機会につながると思う。感謝申し上げます。